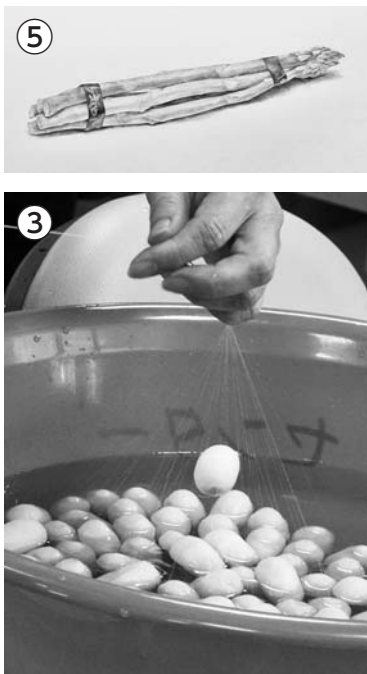
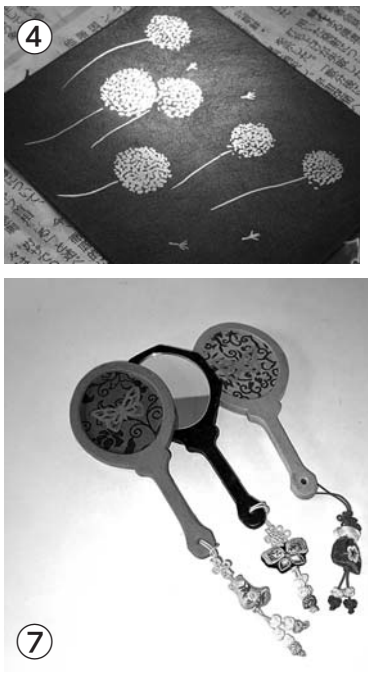




⑤



④



②



⑥

市立伊丹 ミュージアム

春のイベント・講座 特集

市立伊丹ミュージアムは春のイベント・講座などを開催します。春の訪れとともに、新しい出会いや学びの機会が溢れています。心躍る講座やイベントに参加し、ワクワクする体験をしてみませんか。問い合わせは市立伊丹ミュージアムTel.772-5959へ。

市立伊丹ミュージアム
ホームページ



工芸講座

◆①工芸実技講座 手織講座
「手織のある暮らしを楽しむ」
(写真①) 4月15日～7月1日の午前10時半(全14回)。
▽内容 初心者基礎織りから学び、経験者は自由に制作する▽定員 16人▽受講料 14万9千円(材料費別)。

◎②工芸特別講座 「銀箔七宝で作るペンダントと6枚花のブローチ」(写真②) 4月26日(土)・29日(祝)の午後1時(全2回)。
▽内容 自由にカットした銀箔を貼り付け、好みの七宝釉薬でブローチとペンダントを作る▽定員 10人▽受講料 17千円。

◎③工芸特別講座 「まゆの糸とリ体験」(写真③) 5月3日(祝)午前10時半。
▽内容 11蚕のまゆを使って生糸の糸とりと真綿の紡ぎを体験▽定員 16人▽受講料 14千500円。

◎④工芸実技講座 銅版画講座「簡易リトグラフ」(写真④) 5月10日～6月28日の土曜午前10時半(全8回)。
▽内容 初心者から経験者まで楽しめる版画講座▽定員 16人▽受講料 11万9千600円(材料費別)。

◎⑤工芸実技講座 デッサン講座「とことん描こう デッサン&水彩画」(写真⑤) 5月15日～7月10日の木曜午前10時半(全8回)。
▽内容 11デッサンの基礎を学ぶ▽定員 16人▽受講料 11万6千円(材料費別)。

◎⑥工芸実技講座 陶芸講座「しごきと面取り技法で器をつくる」(写真⑥) 5月21日～6月11日の水曜午後2時(全4回)。

▽内容 11マグカップやスプーンなどの器をつくる▽定員 16人▽受講料 8千円(材料費別)。

＊ ＊ ＊
⑦

＊ ＊ ＊
⑧

＊ ＊ ＊
⑨

＊ ＊ ＊
⑩

市立伊丹高商業科 Cafe Felicitá



市立伊丹高商業科によるカフェ「Cafe Felicitá」を開催します。ドリンクのほか、高校生が発案・開発した菓子やパンなどオリジナル商品を販売します。

【日時】 3月22日(土)・23日(日)の午前10時半～午後4時
【会場】 市立伊丹ミュージアム内旧石橋家住宅1階カウンター・和室
市立伊丹ミュージアムTel.772-5959、市立伊丹高校Tel.772-2040

先着順。

俳句イベント・講座

◆伊丹一句(19)の日に投句を
毎月19日を「伊丹一句(19)」の日とし形式にこだわらない自由な俳句を募集します。

応募期間は、3月19～21日。無料。特選・入選者には賞品あり。同館ホームページから投句できます。

◎「伊丹一句(19)の日」句会
ライブを開催 3月18日(火)午後2～4時(投句締め切りは午後2時)。

▽内容 11酒に関わる自由な俳句2句を投句(用紙は受付時配布)▽参加料 1千円。

◎第35回鬼貫顕彰俳句(一般の部)募集 俳人の上島鬼貫を顕彰する「鬼貫賞」の俳句を募集。募集作品は未発表の雑誌2句1組(1人何組でも投句可)。

8月2日(土)に同館で鬼貫顕彰俳句大会と表彰式を開催。投句料2句1組千円(定額小為替可)。

▽内容 11投句用紙(同館ホームページでダウンロード可)か縦書き400字詰め原稿用紙(左ページに作品を、右ページに住所・氏名・俳号・年齢・電話番号をふりがなとともに書いて)を4月30日(消印有効)までに直接か郵送で〒604-0895宮ノ前2-1-5市立伊丹ミュージアム(鬼貫顕彰俳句担当宛)へ。

＊ ＊ ＊
市立伊丹ミュージアムTel.772-5959。

◆かきもり文化カレッジ「かきもり俳句コース」 4月22日～来年3月の火曜午後2時(全9

回)。
▽内容 11句会をメインにした俳句実作講座▽対象・定員 11高校生以上30人▽参加料 11一般2千円、大学・高校生千円。

回)。

▽内容 11句会をメインにした俳句実作講座▽対象・定員 11高校生以上30人▽参加料 11一般2千円、大学・高校生千円。

◎かきもり文化カレッジ講読コース①「俳文に親しむ」芭蕉の門人たちを中心に 4月26日～来年3月28日の土曜午前10時半(全10回)。

▽内容 11そばや唐辛子、山芋など身近な「食」をテーマにした江戸時代の文章を読み解いていく講座▽対象・定員 11高校生以上30人▽参加料 11一般2千円、大学・高校生千円。

◎かきもり文化カレッジ講読コース②「鬼貫のオススメー100句をよむ」 5月2日～来年3月6日の金曜午後1時半(全10回)。

▽内容 11俳人・鬼貫が生涯に詠んだ句から選出した100句を読み楽しむ講座▽対象・定員 11高校生以上30人▽参加料 11一般千円、大学・高校生500円。

＊ ＊ ＊
市立伊丹ミュージアムTel.772-5959へ。先着順。

イベント・企画展

◆I/Mでお茶の世界を満喫！
2025「春の茶会と煎茶道公開」日時や内容などは次の通り。

【春の茶会】 4月12日(土)午前11時半～午後4時、日本庭園で抹茶と生菓子を楽しむ。

【煎茶道公開】 13日(日)午後1～4時、旧石橋家住宅1階で点前を見学(煎茶を提供)。

▽定員 11一度に①12人②5人▽参加料 11①800円②無料。当日直接、会場へ。

伊丹の広場 学芸員知識

パリ万博で 生まれた傑作

開催中の「I/M Collection」展は、市立伊丹ミュージアムが誇る収蔵品を紹介する展覧会で、美術・歴史・工芸・俳諧の各分野の名品、約190点を展示しています。

なかでも「色彩の魔術師」ラウル・デュフィの「電気の精」のリトグラフ(石版画)は、1937年のパリ万国博覧会のために描かれた壁画を再構成したもので、4月に開催される大阪・関西万博にちなんで展示しています。

ラウル・デュフィは、フランスを代表する画家で、同年5月に開催されたパリ万国博覧会で、パリ配電会社が出展したパビリオンの広さ600平方メートルにも及ぶ大壁画に「電気の精」を描きました。

一般公開されるとたちまち5月に開催されたパリ万国博覧会で、パリ配電会社が出展したパビリオンの広さ600平方メートルにも及ぶ大壁画に「電気の精」を描きました。

一般公開されるとたちまち5月に開催されたパリ万国博覧会で、パリ配電会社が出展したパビリオンの広さ600平方メートルにも及ぶ大壁画に「電気の精」を描きました。



ラウル・デュフィ「電気の精」よりI～III

評判となり、この壮大なプロジェクトを成し遂げたデュフィは、後世に残る傑作を生んだ功績が称えられ、翌年レジオン・ドヌール勲章オフィシエを受けました。

万博閉幕後、壁画は発注者パリ配電会社の倉庫に保管されたのち、1961年に開館したパリ市立近代美術館に収蔵されました。現在も常設展示され、その輝くような色彩で人びとを魅了し続けています。

同館が所蔵する作品はこの壁画を10分の1のサイズに縮尺して再構成した10枚組のリトグラフで、限定数だけが発行された貴重なものです。

リトグラフは平らな版面に油性分を含んだインクで描いた画をそのまま紙に印刷できる印刷技術のことで、本作は筆致やモチーフなどに細かい違いはありますが、デュフィがイメージする軽やかな線と色は忠実に再現されています。

また、ガリレオやダビンチなど科学技術の発明と発展に貢献した108人の科学技術者たちや、電気によって変化する人々の暮らし、そして電気の歴史を美しく駆け抜ける「電気の精」などが描かれ、「近代生活における芸術と技術」をテーマとしたパリ万博にふさわしい作品となっています。

「I/M Collection」展は市立伊丹ミュージアムで3月23日(日)まで開催しています(左記事参照)。是非デュフィの描く「輝くような色彩で唱われた人類の叡智と進歩」をご覧ください。

市立伊丹ミュージアムTel.772-5959。

I/M Collection展 開催中

【日時】 3月23日(日)まで
【内容】 「博覧会・旅・春」をテーマに美術・工芸・歴史・俳諧俳句の各分野の名品や、初公開となる作品と資料約190点を紹介
【観覧料】 ▷一般=400円▷大学・高校生=300円▷小・中学生=200円

市立伊丹ミュージアムTel.772-5959